

真加部 湧大さん（広島県神石高原町出身）  
2018年度2次隊 青年海外協力隊  
派遣国：インド 職種：コミュニティ開発  
2019年10月20日（日）中国新聞 SELECT 掲載



※中国新聞社の許諾を得ています

## 養蚕農家の女性を支援

「暑い」「カレー」「きれいじゃない」…。こんなインドのイメージが覆される場所。それが今、私が生活している南インドのタミルナド州ホスールだ。高地のため7、8月は日本よりも涼しく、食事は日本のインド料理店にないものばかり。皆とても温厚で、日々元気をくれる。

私は、絹の原料を作る養蚕業を管轄する繊維省中央蚕糸局へ配属され、養蚕農家の生活調査、生活改善策の提案・実施などを行っている。この国は、絹で作られた伝統的な衣装のサリーもあり、絹市場は世界最大とも言われる。

絹の需要は今なお伸び続け、多くの人が関連産業に従事している。そんな中、私の活動の中心は養蚕農家の女性グループを支援することである。彼女たちの日収はわずか300円。グループでは月々お金を集め合い必要なメンバーに貸し付けたり、教育資金などのまとまったお金のためにグループでローンを組んだりする。相互扶助で日々の生活をやりくりしている。

彼女たちの生活が少しでも豊かになればと、コクーンクラフト（繭細工）の制作を提案し一緒に作っている。また、彼女たちの活動や養蚕業全般、そして日本についてインドの学校で紹介する交流活動も始めている。

残り1年の任期。少しでも現地の人のためになる活動をするのが目標だ。そして任期後もお互い思い出すたびに自然に笑顔になり、また未永く交流をしたいと思えるような、そんな深い絆を一人ずつ築いていきたい。



キャプション：  
コクーンクラフトについて説明を受ける農家の女性